



愛知陸協広報

第59号

令和5年7月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号 ハレラニ千代田ビル301

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

会長就任にあたって

会長 梅村 清英

一般財団法人愛知陸上競技協会の会員の皆様方には、日頃から協会運営に多大なるご支援、ご協力をいただいておりますことに対し、心より御礼を申し上げます。このたび、当協会の会長に就任致しました。まことに重責ではございますが、愛知の陸上界の発展に向けて微力を尽くしてまいり所存ですので、何とぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、5月の連休明けから、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行されました。これを機にコロナウイルスとの闘いは大きな転換点を迎え、感染対策は基本的に個人の判断に委ねられるようになりました。会員の皆様方におかれましては、これまで3年間にわたり、各種競技会等の運営にあたって感染防止に尽力されてこられたことに対し、あらためて深く感謝を申し上げたいと思います。ただ、新型コロナに関しては、この先、再び感染が拡大する可能性がなくなったわけではありません。引き続き気持ちを緩めることなく、万一の際への備えをよろしくお願い致します。

コロナ禍が一段落して競技環境が整うと同時に、2026年秋に予定される愛知・名古屋アジア競技大会、アジアパラ競技大会に向けた動きが、いよいよ本格化してまいりました。瑞穂公園陸上競技場では改築工事が急ピッチで進められており、メイン会場としてふさわしい施設の整備が大いに期待されるところです。また地域の中においても、大会組織委員会と、愛知県内の国公私立大学が会員となっている愛知学長懇話会が連携協定を締結するなど、さまざまなかたちで大会の盛り上げに向けた機運が醸成されつつあることをひしひしと感じております。

アジアのトップアスリートが一堂に集い、鍛えぬいたパフォーマンスを披露する大会は、陸上をはじめとするスポーツの魅力を感じることのできる、絶好の機会となるのは間違いありません。大会の開催をきっかけとして、将来、地元・愛知から若い選手が大きく育っていくことも十分、期待することができるでしょう。当協会としても、大会を成功に導くべく万全の態勢で臨んでいきたいと考えておりますので、会員の皆様方には一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

アジア選手権大会での活躍を祈る

7月12日から16日にタイのバンコクで開催される第25回アジア陸上競技選手権大会に愛知県から5名の選手が選出されています。河村一輝選手（トーエネック）、田澤廉選手（トヨタ自動車）、湯上剛輝選手（トヨタ自動車）、山本聖途選手（トヨタ自動車）、藏重みう選手（甲南大）それぞれの活躍を大いに期待いたします。



河村 一輝 選手



田澤 廉 選手



湯上 剛輝 選手



山本 聖途 選手



藏重 みう 選手

専門委員会報告

総務委員会

2023年度本協会の役員が改選されました。本年度の評議員・役員は以下の方々です。

紹介させていただきます。

評議員	小島 末廣・杉山 裕二・澤木三枝子 青木 実・植田 准次・小川真一郎 櫻井 一美・林 一哉・木村 元彦 鈴木 政男・伊藤 博之・井上 兼久 岡田 武彦・國枝 秀世・森 雅紀
会長	梅村 清英
副会長	外山 幸男・稲垣 裕
専務理事	榊原 茂
常務理事	水野 隆夫 (総務) 北村 肇 (競技・情報・強化担当) 伊藤 明久 (審判)
理事	安田 純久 (競技) 谷口 直土 (記録・情報) 平川 貴之 (施設用器具) 明星 光信 (強化) 赤尾 和雄 (年誌・広報) 永山 宏智 (財務) 中田 有紀 (学識) 谷崎 好美 (女性代表) 小田垣充雅 (強化副) 野口 由紀 (財務副) 青山 充資 (尾張理事長) 水野 久 (名古屋理事長) 市川 陽明 (西三河理事長) 石場 治 (東三河理事長) 石井 哲郎 (高体連) 秋山真一郎 (中体連) 黒須 雅弘 (東海学連) 加藤 智久 (マスターズ)
監事	永田 敏也・古旗 恵子
名誉会長	稲垣 隆司
名誉副会長	國分 一郎
顧問	竹内 伸也
参与	越原 一郎・近藤 卓夫・牧田 功 山内 満・小椋 征弘・坂井田醇三 柴田 和秀

下線：新

(水野 隆夫)

競技委員会

2023年度はコロナウイルス感染の広がり、落ち着きが見られるようになりました。競技会も、観戦者を入れての開催が行なわれるようになりました。以前のような安心な競技会に早く戻れるように取り組んでいきたいと思えます。

これからの競技会も、秋のトラック&フィールド、愛知駅伝、読売犬山ハーフマラソン、名古屋ウィメンズマラソン、穂の国豊橋ハーフマラソンへと進んでいきますが、久しぶりに全ての競技会が開催される予定です。

2026年のアジア大会に向けて取り組むとともに、スムーズな競技運営をめざした競技会のあり方を皆さんと考えていきたいと思えます。

前向きなご意見をお待ちしています。競技運営や準備などへのご協力よろしくお願ひします。

(榊原 茂)

施設・用器具委員会

本年度は愛知陸協の役員改選の年に当たり、当委員会の委員にも若干の入れ替わりがありました。陸連派遣者(検定員・技術役員・自転車計測員)の交代はありませんので、検定等でお近くに訪れた折には、よろしくお願ひいたします。

1. 本広報発行までに検定を終えた競技場について

① 蒲郡市公園(グ)陸上競技場(4種L継続) [1/29]

4区分から5区分に変わり、県内で唯一シンダー土質トラックである本競技場は、4種L(ライト)にての継続となりました。種別が4種・4種Lの公認競技場では、技術役員2名で検定することになっていますが、昨年度正式に委嘱された村瀬新技術役員のデビュー検定ということもあり、私平川もサポートについて実施しました。

バック側の砂場が撤去されて棒高跳専用となり、やり投施設も撤去されたことにより、投てき種目は砲丸投のみとなっております。2027年8月31日まで公認。



トラック計測0点調整(南)



トラック計測数値読取(村瀬)

② パロマ瑞穂北陸上競技場(3種継続) [3/18]

様々な都合もあって、暴風や降雪でも無い限り検定は行なうので、徐々に朝から一日中雨の降る中で行ないました。今回注目すべき点は、青木前検定員が始めてまいりましたメイン側直送路の逆走ができるようになったことです。逆走を実施する度に、写判カメラのコードを付け替えたり、風力測定器を移動させたり、フィニッシュラインやハードルポイントをひいたりしなければいけません。出場標準記録の掛かる大会等での有効的な利用を期待します。

検定と並行して、名古屋地区陸協による逆走の写真判定

クラブ紹介⑤③ teamRIZE

teamRIZEは、その前身の安城BMアスリートクラブとして、2014年に設立致しました。2018年4月『広く西三河の子どもたちに、陸上の普及を』という願いを込めて、teamRIZEに改名させていただき、現在に至っております。チーム活動に際し、1番大切にしている理念は、選手を取りまく環境（アントラージュ）です。主役はあくまでも『選手』であり、親御様でもなければ、ましてや指導者でもありません。常に選手に寄り添うこと、『勝ち負け』に一喜一憂することなく絶対的価値観や自己肯定感を育み、陸上競技を通して高い人間力を磨いて欲しいと思います。選手は常に、『応援する側』『応援される側』を経験することで、お互いに切磋琢磨できる強い絆を築いて欲しいです。陸上の試合は孤独な闘いですが、共に励まし合い、讃

え合える仲間との深い絆を大切にしたいと思っています。更には、観戦マナーや応援マナーも含め、選手としての自立（自律）も促していきたくと思っています。

そして一番の願いは『長く長く陸上を続けてもらいたい』それに尽きます。ゲームの攻略に夢中になるように、子どもたちが、陸上は楽しいと感じてくれることが何よりの喜びです。チームのコーチの中には、大学陸上や実業団で活躍する現役選手たちも大勢在籍しています。高校陸上に青春の全てを賭けてきた努力家たちもたくさんいます。頑張ってきた選手やコーチたちが、『いつでも帰ってきたいと思える場所』そんなチームをめざしています。

ホームページ <https://bmathlete.jimdofree.com/>

(代表 木谷 英泰)



チーム集合写真



コーディネーショントレーニングの様子

研修会も行なわれました。2028年5月31日まで公認延長。

③ 半田運動公園陸上競技場（3種一部改造）[4/9]

トラックのみ全天候舗装を全面改修したことによるもので、この検定による公認期間等の変更はありません。また、年度末にはトラック内のフィールド部分の全天候舗装を全面改修する計画があります。

2. 今年度予定している検定について

- ① 愛知県一宮（総）陸上競技場（3種継続検定）
- ② ウェーブスタジアム刈谷（3種継続検定）
- ③ 美浜町（運）陸上競技場（3種新設検定）
- ④ 犬山ハーフマラソン（一部改造検定）

3. 公認の廃止について

至学館大学（4種）陸上競技場 [2023/4/1 付]

(平川 貴之)

審判委員会

2023年度の各種競技会が繰り広げられている真っ最中

かと存じますが、先日、第107回日本陸上競技選手権大会にJTOとして参加する機会を得ましたので、今回はそこで見てきたことを少し、紹介させていただきます。

大会名：第107回日本陸上競技選手権大会

第39回U20日本陸上競技選手権大会

会場：ヤンマースタジアム長居（大阪）

期日：2023年6月1日（木）～4日（日）

1 台風接近、大雨洪水警報発令に対する日程変更

大型の台風2号が大会期間中に接近してきました。大会1日目の時点で2日目に予定していた跳躍競技の全部を3日目に移すことが決定され、各方面に連絡が徹底されました。このことは3日目の跳躍競技のタイムテーブルを大幅に変更することになり、なおかつ競技場をフルに利用しての対応となり、同時展開も必須になるので、必要な審判員数が増加することになります。急遽、審判の依頼を発し、予定していなかった審判員も多数確保でき、大きな問題なく運営できていました。

また、2日目の大雨が降る中、U20男子円盤投は当初予定のまま競技が開始されたが、着地場所付近の芝には水が浮き、円盤に指が引っ掛からない状況が見受けられたので、2回目終了時点で競技を中止し、翌日改めて1回目か

ら開始するとの判断がなされました。同時にU20女子やり投も翌日へと延期されました。ただし、この2種目はヤンマーフィールド(サブトラック)での実施という判断でした。

このような事態の中、日本陸連事務局は参加各選手への連絡を、大阪陸協は審判を中心とする運営関係者に密に連絡を取って、大きな混乱なく変更日程で対応できました。主催・主管それぞれの団体の組織力の強力さを見せつけられました。

2 スタート判定に対する共通理解

今大会では選手のレベルを勘案して、いわゆる「ピクツキ」があって「打ち戻し」をした際に「注意」名目でグリーンカードを提示するのではなく、「警告」としてイエローカード(YC)を提示するようJTO代表からの指導がありました。根拠となる観点として、「他の出場選手のスタートを妨害している」ということが説明されました。また、YCが出たときの情報共有も適切に取り扱えるよう確認されました。(このYCは次のラウンドや他の出場種目に引き継がれていく)大会の性質により、あらかじめどう対処するかを打ち合わせておく必要があります。なお、スターターの付近にはSISの反応グラフとハイビジョンカメラによるビデオ再生が見られる装置があり、選手の動きをより速く詳しく判定できるようになっていました。

3 EDM操作と記録の慎重な取り扱い

フィールド競技の記録計測には光波測定装置が利用され、大会を通して競技開始前と終了後は3カ所の計測と各ラウンド終了ごとに1カ所の定点を計測するという方法ですすめられていました。そんな中でも男子走幅跳で計測中に視準エラーが発生し、基線設定をやり直したことがありました。原因は測定器を乗せる三脚の固定のためのネジの緩みとのことでした。その間選手の痕跡は保護され、失うことはありませんでしたが、トラブルが起こった時の審判間の連携がよく、確実な対処の仕方でした。あらかじめ、トラブル対策のマニュアルが共有されているようです。また、これとは別に、踏切判定のビデオ映像で無効試技にしたものは、システム入力は無効としつつも、万が一の抗議に備え、記録を計測して手書きの記録用紙に記入しておく対処方法をとっていました。

4 最後に

台風の影響による大雨によって、大幅な競技日程の変更などに迫られ、いろいろな課題が山積していくなかでも冷静にそして、確実にその課題を解決していく様子を近くで見ることができ、とてもいい勉強になりました。このような困難な状況下では最良に近い答えを考え導き出し、それをしっかりと情報伝達と共有ができるようにすることの大切さがわかりました。大阪陸協の皆さんありがとうございました。

(伊藤 明久)

選手強化委員会

2023年度選手強化委員会各種行事予定

【派遣事業】

行事名	期間	派遣日程	場所	責任者	幹事
日本陸上競技選手権・リレー競技リレフェスティバル	10月7日(土)・8日(日)	10月5日(木)～10月8日(日)	3泊4日 東京国立	森下	長谷川
国民体育大会	10月13日(金)～17日(火)	10月11日(水)～17日(火)	6泊7日 鹿児島	谷口	門脇
都道府県女子駅伝	1月14日(日)	1月11日(木)～14日(日)	3泊4日 京都府	松田	清水
都道府県男子駅伝	1月21日(日)	1月19日(金)～22日(月)	3泊4日 広島県	服部	矢野

【競技会】

競技会名	期日	場所
国体選考春季選抜競技会	4月15日(土)・16日(日)	瑞穂北
国体選手選考少年の部	7月1日(土)・2日(日)	瑞穂北
駅伝強化豊川長距離競技会	9月18日(月・祝)	豊川
第1回駅伝強化長距離競技会	10月7日(土)	瑞穂北
投擲競技会	10月7日(土)	瑞穂北
第2回駅伝強化長距離競技会	11月11日(土)	知多
第3回駅伝強化長距離競技会	11月18日(土)	瑞穂北
競歩競技会	2月24日(土)	知多

【強化行事・合宿・練習会】

行事名	期間	場所	責任者	幹事	備考
国体選手合宿	8月28日(月)・29日(火)	1泊2日 一宮	谷口	小田垣	ミーティング 採寸中心
国体選手練習会①	9月18日(月・祝)	1日 一宮	谷口	小田垣	
国体選手練習会②	9月24日(日)	1日 岡崎龍北	谷口	小田垣	
駅伝夏合宿	未定 (実施予定)	2泊3日 未定	未定	服部	矢野(男子) 清水(女子)
都道府県駅伝合宿①	12月26日(火)～28日(木)	2泊3日 豊川	豊川	服部	矢野(男子) 清水(女子)
都道府県駅伝合宿②	1月4日(木)・5日(金)	1泊2日 瑞穂北	瑞穂北	服部	矢野(男子) 清水(女子)
国体強化指定選手練習会①	12月16日(土)・17日(日)	1泊2日 知多	知多	北浦	木原 投擲
” ②	12月23日(土)～25日(月)	3日 岡崎龍北	岡崎龍北	谷口	小田垣 短・中・跳・障・歩
” ③	12月26日(火)～28日(木)	2泊3日 豊川	豊川	服部	矢野(男子) 清水(女子) 長距離・駅伝
” ④	1月6日(土)	1日 知多	知多	北浦	木原 投擲
” ⑤	1月20日(土)	1日 知多	知多	北浦	木原 投擲
” ⑥	1月21日(日)	1日 瑞穂北	瑞穂北	谷口	小田垣 短・中・跳・障・歩
” ⑦	2月4日(日)	1日 知多	知多	北浦	木原 投擲

〃 ⑧	2月11日(日)	1日	知多	谷口	小田垣	短・中・障・歩
〃 ⑨	2月17日(土)	1日	知多	北浦	木原	投擲
〃 ⑩	3月3日(日)	1日	知多	谷口	小田垣	短・中・障・歩
ジュニア部練習会①	1月21日(日)	1日	豊川	森下	長谷川	ジュニア部 中学生のみ
〃 ②	2月4日(日)	1日	瑞穂北	森下	長谷川	ジュニア部 中学生のみ
〃 ③	3月17日(日)	1日	瑞穂北	森下	長谷川	ジュニア部 中学生のみ
〃 ④	1月28日(日)	1日	豊橋	八代	大矢	ジュニア部 小学生のみ
〃 ⑤	2月11日(日)	1日	岡崎龍北	八代	大矢	ジュニア部 小学生のみ
〃 ⑥	3月23日(土)	1日	一宮	八代	大矢	ジュニア部 小学生のみ
全国小学生陸上	9月16日(土) ～18日(月)	2泊 3日	横浜 (神奈川)	八代	大矢	全国大会の 引率指導
全日中参加者練習会	未定	1日	瑞穂北			
国体選手リレー 練習会	9月中旬	2回	瑞穂北等	後藤	小林	国体選手の リレー練習
日本選手権リレー競技	4回程度	4回 程度	知多等	森下	長谷川	選手の リレー練習
競歩教室	各月1回開催	12回	刈谷市総合 運動公園内	戸松	齊藤	

【指導者養成】

事業名	概要
JAAF公認 ジュニアコーチ養成講習会	2023年12月9日(土)・10日(日):中京大学
JAAF公認 スタートコーチ養成講習会	2024年2月17日(土):日本福祉大学
JAAF公認コーチ派遣	小野田基(愛知県立三好高等学校) 吉川昌利(愛知県立愛西工科高等学校)
JAAF公認 ジュニアコーチ派遣	久田尚弥(至学館高等学校) 夏目裕暢(岡崎城西高等学校)
第1回愛知陸上競技協会 コーチングクリニック	実施予定(日時、場所 未定)
医事部トレーナー研修会	8月22日(火)～25日(金) 3泊4日 日間賀島

【会議関係】

回数	選手強化委員会	駅伝部強化委員会	ジュニア部強化委員会	幹事会
第1回	4月16日(日)	7月上旬	未定	未定
第2回	7月16日(日)	11月上旬		
第3回	8月上旬	2月上旬		
第4回	11月下旬			
第5回	3月上旬			

新型コロナウイルス感染症の影響から、思うように行事が進められなかったここ数年ですが、本年度は6月に第5類に引き下げられた関係から、数年ぶりに通常開催ができそうです。1からのスタートのつもりで、普及・強化を頑張りたいと思います。また昨年度実施をしました、公認ジュニアコーチ養成講習会・公認スタートコーチ養成講習会も

開催します。多くの指導者の方々のご参加をお待ちしております。

(明星 光信)

年誌資料・広報委員会

「愛知陸協広報」59～61号編集計画

号数	発行月日	編集内容
「愛知陸協 広報」 59号	7月31日	<ul style="list-style-type: none"> 会長のことば 専門委員会報告及び今年度の活動方針 4地区の活動状況及び今年度の活動方針 関係団体の活動状況 競技会報告(国体選考、国体春季選抜、東海学生、県マスターズ、県高校総体、日本選手権、県高校定通、東海高校総体、県・東海混成、小学生リレー等) 理事会等会議報告 慶弔報告(協会会長表彰他)
「愛知陸協 広報」 60号	11月30日	<ul style="list-style-type: none"> 副会長のことば 専門委員会報告 4地区の活動状況 関係団体の活動状況 競技会報告(愛知選手権、県中学通信・県中総体、東海中総体、世界選手権、全日中、県ジュニア、県高校新人、U20・U18、国体、県小学生等) 理事会等会議報告 競技会参戦及び観戦記(全国高校総体、国体他)
「愛知陸協 広報」 61号	3月31日	<ul style="list-style-type: none"> 専務理事のことば 専門委員会報告 4地区の活動状況及び今年度の反省 関係団体の活動状況及び今年度の反省 競技会報告(県・東海高校駅伝、県中学駅伝、市町村駅伝、東海学生駅伝、全国高校駅伝、元旦競歩、都道府県駅伝、読売犬山ハーフマラソン、マラソンフェスティバル等) 理事会等会議報告

(赤尾 和雄)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

アジア大会へ向けた瑞穂の本陸競技場工事も着々と進んでいます。北陸上競技場も3月末で全天候走路の補修とトイレ工事が完了しました。特に大きな改修は正面直走路が逆走可能となったことです。ご承知のように北陸の夏の日中の南風は、競技者にとって向かい風で条件の悪い会場になっていました。今回の改修により6月17・18日に開催した地区中学通信大会で、一部の種目を逆走で実施しました。結果、県大会標準記録突破者が多数出て競技会も大いに盛り上がりました。今後、標準記録突破で全国大会出場のかかった競技会では、逆走も視野に入れた大会運営のできる競技場となりました。

学校訪問④

豊橋市立高師台中学校

昨年度県中学校総合体育大会
男子総合の部準優勝

今回は、昨年度の県の中学校総合体育大会男子総合の部で準優勝した豊橋市立高師台中学校を、1学期期末考査翌日の6月下旬の土曜日に訪問しました。長年の取材活動の中で初めて候補に上がった高師台中学校は、近年急激に力をつけてきたのでしょうか。力をつけてきたからには何らかの理由があるからに違いないと思い、取材に当たりました。まずもって、私が戸惑わされた一件を記しておきましょう。8時から練習開始とお聞きしていた私は、7時45分ごろに学校に到着しました。正門から敷地内に入ってみると、校舎と校舎の間をジョギングしている一団に出くわしました。駐車スペースにいらしゃった他部の先生に、あれは陸上部員ですかとお聞きしてみると、「そうです。陸上部員は練習前によく自主的にウォーミングアップをしていますよ」とのことでした。遅刻したのかと戸惑った私は一安心したのですが、同時に高師台中の選手たちの意識の高さを感じました。校舎を回ってグラウンドに向かってみると、既に多くの選手が集まっています。ストレッチ体操をしていました。私は、選手たちの意識の高さを再確認することとなりました。また、練習前からこれだけ体をほぐしていればけがや故障を招くこともないだろうとも思いました。これが、私が感じた強さの秘訣の一点目です。

次に感じたのは、部員数です。顧問の大川友章先生にお聞きしてみると、今日は60名ほどが参加しているのですが、校外のクラブチームに所属していて今日の練習に参加していない部員を含めると全学年で70名を超える部員数ですとのお答えでした。15年ほど前に100名を超える部員数の中学校を訪問したことがあるのですが、少子化傾向が進んだ昨今においては珍しいのではないのでしょうか。取材記事の中で何度か“数は力だ”と書いてきましたが、この言葉にたがわず高師台中の練習にも活気が溢れていました。

練習内容については、二点取り上げおきましょう。一点目は、本練習に入る前のストレッチ体操です。一人で行なうものと二人一組で行なうものとを合わせて25分ほど続いたのでしょうか。考査翌日でしたので体を練習に対応させる目的があったのでしょうか、関節や筋肉の可動域を広げることが記録の向上につながるという考えが大川先生の中におありなのだろうと私には思われました。

もう一つは、多種多様なドリルです。片脚で立って反対脚を上げ下げする腸腰筋運動やランジウォーク、リズムジャンプ、バウンディングなど十数種目あったのでしょうか。ここからが本練習かと思った時には、9時を回っておりまして。しかし、ドリルはこれで終了ではありませんでした。小休止のあとで、スキップ系の速い動きを中心に40分を超えていたのでしょうか、第二段階がありました。ドリルのまとめの流しに入った時は既に10時近くになっていました。ここにも、発達途上にある中学生の神経系統の発達を促す、体の動かし方の効率を上げることを理解させて記録の向上につなげるといった考えが大川先生の中におありなのだろうと私には思われました。その大川先生は、ドリルの種目ごとに、手本を示しながら要点を解説しておられました。また、動きの悪い選手には良くなるように一人ひとりアドバイスを与え、よい動きの選手には「いいぞ」と声をかけておられました。こうした大川先生の精力的な動きや選手たちとの距離の近さがパフォーマンスを押し上げていけるのだろうと私には思われました。

10時過ぎからは、種目別に分かれての練習でした。短距離グループは、バトン走。中長距離グループは、(200m - 200m ジョグ - 1000m) × 2…上位グループは×3、フィールド種目は技術練習という内容でした。ここで強みを発揮したのが、グラウンドの端に敷かれている全天候型の走路で



基本ドリル

す。これは直線の平坦部分が80mほど、グラウンドの角を回る上り下りの傾斜のある曲走路部分が120mほどでしょうか、トラック2レーン分ほどの幅です。バトン走はその直線部分で行なわれましたが、競技会に近い形で練習ができるのは強みです。また中長距離グループの、スピードを上げて短い距離を走っておいてからのペース走が私には新鮮味がありました。大川先生のお話では、心肺機能に負荷を与えたいより負荷をかけたいとのことでした。さらにもう一つ種目別に分かれての練習に強みを発揮したのが、指導者の数です。大川先生の他に、佐藤風汰先生、早川愛里先生、もうお一方外部コーチの夏目輝久先生の3人がこの日の練習には加わっておられました。これだけの指導陣があつての準優勝かなと私は思ったのですが、お聞きしてみると、佐藤先生、早川先生は今年度の異動での加入であり、夏目コーチはこの6月からの指導とのことでした。昨年までは、大川先生お一人で大所帯を切り盛りされていたというわけです。大川先生は、大変助かっていますとおっしゃっていました。高師台中には7月初めに開催される中学通信の県大会で全国大会への切符である標準記録突破を狙っている選手が男子800mで二人いるとのことでしたが、指導陣の手厚い支援で叶うのではないかと私には思われました。

昨年度の県中総体男子総合の部で準優勝を勝ち取った高師台中ですが、指導陣のパワーアップにより今年度はいっそう輝きを増すのではないかと、その時にはまたおそろいのTシャツの背にプリントされた「挑戦」の二文字がいっそう輝きを増すのではないかと思ひながら私はグラウンドを後にしました。その私の耳には、大川先生の「分かった？」の問いかけに選手全員が気持ち一つにして「ハイ」と返事していた声が響いていました。先生と選手たちとの間でも、そんなやりとりがありましたから。



みんなでストレッチ



挑戦

(取材・文責・写真 大西 敏功)



逆走で実施の中学女子 100mH

また、これまで競技場を管理していた名古屋市教育スポーツ協会から、4月より業務委託が「株式会社瑞穂LOOP - PFI」へ変更となりました。現在地区陸協として、使用と利用条件、備品の整備や追加、更に練習会場としても使いやすい競技場となるよう要望を出しております。また、駐車場も最大利用料の変更はないものの、料金体系が大きく変わりました。

一方、コロナ感染症も5類に分類され、以前の大会運営と引率応援者状況に近づきつつあります。今年度地区陸協のトラックシーズンは、4月第1週から選手強化普及を目的に、春季(4月)・夏季(6月)・秋季(10月)と三期にわたり記録会を継続的に開催します。小学生、中学生の大会もこれに準じた設定で、申込時の申告記録順に組を編成しタイムレースで大会を行なっています。

(水野 久)

尾張陸上競技協会

尾張陸協は今年度、役員改選の年を迎え新たな役員体制(一部規約改正)でスタートしました。女性理事も増え、新しい風が吹いてくれると信じています。

今シーズンは、コロナ禍の競技会から以前の競技会に徐々に移行しつつも、細心の注意を払いながら運営に当たっています。例年6月に行なわれていた愛知パラ陸上競技フェスティバルは、全国大会の関係で4月16日に行なわれました。全国からパラアスリートが集まり、競い合う姿は、多くの感動を与えてくれました。パリパラリンピックを目指すアスリートが順調な仕上がりを見せる中、日本新記録も誕生しました。通常の競技会とはかなり違い、戸惑うことばかりでしたが、今後のパラリンピック競技の普及と理解、楽しめる環境作りが次世代につながると思いました。

尾張唯一の全天候型陸上競技場である県営一宮総合運動場では、写真判定装置が相変わらず不安定です。未公認とは言え、中学校の大会が途中から手動計時にせざるを得なくなり、大変申し訳なく思っています。今年度11月より一部改修工事に入りますが、公認競技会ではそのようなことがないよう、改善要求の第一でお願いしてあります。

現時点での全国大会出場者は以下のとおりです。

全国高等学校総合体育大会

男子 110mH	岩田 優 (一宮)
男子走高跳	森 皓基 (一宮起工科)
男子砲丸投	柳 勇次 (誠信)

男子ハンマー投	市原 想太 (愛西工科)
女子 5000mW	大島 璃胡 (津島)

(青山 充資)

西三河陸上競技協会

次世代を担う子供たち

先日、東海学生陸上競技春季大会を岡崎で行ないました。荷物を運ぼうとすると「私が持ちます」と言って、率先して準備を進めてくれる学生の皆さん。日頃、小学生や中学生を相手にしている私には、周りの空気を感じ今やるべきことを考え、自主的に行動できる学生のみなさんがとても頼もしく思われました。

昨年度の大会でも学生の皆さんが私たちの指示を待たなくても行動でき、自分たちの大会を自分たちで運営できていました。話を聞くと、これが代々受け継がれているとのこと。この雰囲気がこの地域の陸上競技界を支えてくれているんだと言うことを痛感いたしました。



学生自身が運営する競技会

もうかなり前になりますが、私が中学校で顧問をしているとき、岡崎の競技場は雨が降ると1~3レーン辺りに水がたまったり、外側のレーンは土でラインテープが埋まっていたりしていました。大会当日、子供たちがグラウンドに到着すると誰に言われるともなく、倉庫にスポンジを取りに行き水を吸い取ったり、靴でレーンのラインテープを掘り起こしたりする姿を今でもはっきりと覚えています。他の競技とは違い、敵味方としての意識はなく、学校間の壁を越えてみんなで大会を成功させようとする気持ちがありました。審判も顧問もそして子供たちもそこにいる全員に一体感がありました。

そんな子供たちの幾人かが時を経て、学校の顧問やチームの指導者、審判員として競技場に戻ってきて、競技を支えてくれています。競技者として得られる感動はありますが、それを支える喜びややりがいのすばらしさを彼らに感じてほしいと願っています。

シーズン初め、今年も新たに審判資格を取られた方や指導者になられた方がいらっしゃいます。今後いろいろな経験を積んで活躍される彼らを大切にしていくとともに、将来の陸上界を背負って立つ子供たちの育成にも努めていきたいと思えます。

(市川 陽明)

東三河陸上競技協会

3年間悩まされた「コロナ感染症」は、少しずつ収束をはじめ、競技場に以前の活気が戻り始めました。しかし、基本的対応はしばらく継続したいと思います。また、コロナ禍に培った効率的な競技運営等は今後の大会に活用していきたいと思います。

現況

- ・新役員は、令和5年1月8日の役員・理事会において決定されました。今回は、石場 治理事長と岩村英幸副理事長が新任となりました。
- ・新たな取り組みとして、2～3ヶ月毎各担当代表で「定例役員会」を開催し、その時々々の課題検討をしたいと思っています。
- ・施設面では、写真判定関係でトラブルが発生しており、原因究明と運用面での対応策を講じていきたいと思っています。

蒲郡市の競技場は、全天候化に向け地元陸協が市に働きかけています。田原市は、公認は切れていますが2年間で走路の張替えを予定しています。

- ・備品関係では、老朽化した備品も多く、各担当者からの意見をまとめ、市当局に要望していきたいと思っています。
- ・競技面では、すでに終えた競技会から「大会新記録」も多く報告されています。IH県予選では、男子30名女子24名が東海大会に駒を進めることができました。今後小中学校を含め各方面の活躍を期待したいと思います。

また、日本選手権で男子400mH小川大輝（石巻中・豊橋南高校・東洋大）の優勝のニュースは、シーズン初めの明るいニュースとなりました。

今後の目標・課題

- ・今後、中学校部活動の動向が不透明なため、「登録・保険等」について情報収集を行ない、「選手」「保護者」「指導者」が困らないよう対応したいと思います。
- ・コロナ対策は、これまでの経験を活かし「より安全・安心な大会運営」をめざし実施したいと思います。
- ・「強化」「審判員確保」では、これまでの事業を継続したいと思います。
- ・最後に、「東三河」からより高いステージで活躍する選手が誕生することを期待して大会運営を行なっていきたいと思っています。以上、よろしくお願いします。

(鈴木 政男)

6名の選手が9月17日(日)に日産スタジアム(神奈川県)で行なわれる全国大会に出場します。愛知県選手団の応援をよろしくお願ひします。

また8月26日(土)に静岡スタジアムエコパで東海小学生陸上競技選手権大会が行なわれます。各種目2位以下の選手5名とリレー5チームが出場します。合わせて応援をお願いします。



6年男子100m大会新で優勝 平岩陸斗くん



混合リレー表彰式(優勝 田原陸上クラブ)

(八代香津子)

中小体連

6月7日(水)愛知県教育会館において、今年度、第1回の中小体連陸上競技部会を開催いたしました。活動方針、主催大会の運営、愛知陸上競技協会より絶大な支援を頂いている強化委員会ジュニア部の事業計画等を議題として協議しました。この紙面上において、活動方針、組織を紹介させていただきます。

○活動方針「陸上競技の振興に努力する」

1. 主催【総体・駅伝】、共催大会【通信】の成功
2. 長期的視野に立った競技力向上体制の確立

○組織

部長	鈴木 秀樹(菊井中校長)
副部長(委員長)	秋山真一郎(大高中)
総務部長	下里 功大(富士中)
(財務担当)	三尾麻由美(守山中)
総務部委員	釜下 隼亮(日進西中)
	日下部雄哉(西成東部中)
	加藤 健太(岡崎北中)
	佐野 亮(豊川東部中)

関係団体報告

小学生友の会

6月24日(土)にパロマ瑞穂北陸上競技場で日清食品カップ愛知県小学生陸上競技交流大会が行なわれました。大会当日は天候にも恵まれ、約800人の小学生が熱戦を繰り広げました。男子6年100mでは平岩陸斗君(刈谷AC)が12秒18の大会新記録で優勝。女子コンバインドAでは優勝の榊原りほさん(TFC半田)、2位の宮園未莉さん(大須AC)、3位の山本依那さん(田原陸上)の3名が大会新記録という素晴らしい結果となりました。各種目で優勝した8名と混合リレーで優勝した田原陸上クラブの

競技運営部長	今枝 厚樹 (港南中)
競技運営部委員	競技：日高 徹 (東浦北部中) 下里 功大 (富士中)
	駅伝：澤田 卓也 (朝日丘中) 加藤 健太 (岡崎北中)
	審判：釜下 隼亮 (日進西中) 佐野 亮 (豊川東部中) 加藤 健太 (岡崎北中) 川路 紀行 (古知野中)
	情報：今枝 厚樹 (港南中) 西村 文宏 (椛山女学園中) 岡田 淳史 (青陵中)
強化部長	森下 賢吾 (安城南中)
強化部委員 (U16 リレー担当)	男子：磯部 慶 (逢妻中) 女子：吉田 朋世 (御幸山中)
(県中小体連強化部=愛知陸協ジュニア部)	

中学生における陸上競技の普及と育成のために日々ご尽力頂いている先生方、愛知陸上競技協会の先生方とともに「選手ファースト」の観点に立ち、邁進していきたいと考えています。今年度からは、感染症における制限は撤廃され、通常の競技会運営に戻ります。今まで制限されていた、集団での応援もできるようになります。競技場全体で競技会を盛り上げていける雰囲気を作り出していきたいです。その他、競技会運営や指導についてお気づきのことやお困りのことがございましたら、所属の地区運動部員まで声をお聞かせください。先生方の思いやお考えを中小体連の活動に少しでも反映できればと考えております。

最後となりますが、中小体連は各学校のご協力のもと、主催大会を開催できております。今後とも、「チーム愛知」が一丸となり、一人一人の選手が輝くことができるように支えていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

(秋山 真一郎)

高体連

2023年度全国高校総体（北海道大会）に向けて

新型コロナウイルス感染症の対策がほぼなくなり、競技会が開催されていく中、本年度の全国高校総体への道のりは、県下6支部の大会が5月3日から始まりしました。県大会は本年度もマルヤス岡崎龍北スタジアムでの開催でした。メインスタンドの収容人数の関係から、応援の皆様には曲走路外側の土塁の上を応援エリアとして開放しました。パロマ瑞穂スタジアムが完成するまでは、県内大会では多くの皆様による声援がいただけないことがさみしい限りですが、競技会を運営する上では、致し方ないことかと考えています。

東海大会は静岡スタジアムエコパ競技場にて開催されました。とても大きな競技場ですので、多くの皆様方の応援の中での開催でした。愛知県ではここ数年見られないような観客数と大きな声援の中での開催で、とても嬉しく感じました。

全国総体は8月2日から5日間、北海道厚別競技場にて開催されます。本年度の愛知県勢の特徴は、男子800mと400mH、女子5000mWで愛知県独占や長距離種目で活躍が目立ちました。一方、ここ数年活躍できていた短距離、跳躍は少々さみしい結果となりました。また、女子のハンマー投は東海地区のレベルが非常に高く、全国大会での入

賞ラインの記録を出しても全国大会に進出できないような状況でした。最終的な全国大会への進出数は、混成競技のワイルドカードによる2名を追加して延べ99種目でした。

本年度の東海4県の状況は、静岡県が短距離・跳躍で目立ち始めてきましたが、投擲種目ではかなり低調になってきていること、三重県が相変わらず投擲種目に活気があること、岐阜県はかなり厳しい状況にあることが挙げられます。

個人種目の結果では、愛知県勢の優勝数は、男子が9種目で昨年と同数、女子が11種目でした（昨年度12種目）。リレー種目では2種目合わせて女子が6チーム（昨年は4チーム）、男子が5チーム（昨年は8チーム）の入賞でした。

学校対抗では男女ともに昨年に引き続き、中京大中京高校が総合優勝に輝きました。男子は開始式で昨年度までの3年連続総合優勝で表彰を受けました。

延入賞数は下記の表のように男子49、女子55、合わせて104になりました。昨年度が101ですので横ばいです。過去数年からすると、減少傾向が続いています。全国総体参加者数は男子69（昨年度78）名、女子71（昨年度54）名で合計140名になりました。昨年に続きリレー種目の結果が反映してしまったと思われます。過去最多は152名です。

また、本年度の全国大会不出場種目は男子の100m、三段跳、やり投、八種競技、女子ハンマー投の5種目で、残念な結果になってしまいました。愛知県をあげて頑張っていかななくてはならないと感じました。今後に向けて、各学校の選手の頑張りと同様の先生方のご指導を期待します。全国総体に向けては、愛知県全体として多くの入賞を目指し頑張っていきたいと思っております。

最後になりましたが、部活動離れが進んできているように感じますが、高体連としてもできることを確実に実施し、今後も努力を続けていきたいと思っております。

東海総体入賞者数県別比較 ()内は令和4年度

県名	男子	女子	合計	リレー
愛知	49(51)	55(50)	104(101)	11(12)
静岡	41(39)	30(35)	71(74)	8(9)
岐阜	6(13)	12(9)	18(22)	1(2)
三重	30(23)	24(26)	54(49)	4(1)
総数	21種目126	20種目121 棒高跳 6位2名	41種目247 棒高跳 6位2名	4種目24

※全国出場権 混成競技3位までと全国上位5名。競歩は本年度から5位まで。

女子種目（棒高跳・三段跳・ハンマー投）は4位まで。
(石井 哲郎)

高体連定通部

県定通総体を終え、全国大会に向けて

はじめに、今年度も無事に県大会が開催できましたのも各校顧問の先生方の協力、審判員の方々の協力のおかげです。本当にありがとうございます。たくさんの方々に支えられ、今年度も温かい雰囲気の中、大会が開催できたことに感謝しています。

さて、県定通陸上競技大会では科技高刈谷が男女ともに危なげなく8連覇を達成し、安定した力を発揮しました。8月10日から行なわれる全国大会（東京・駒沢オリンピック公園陸上競技場）へは男女総合優勝の科技高刈谷はじ

め、市立豊橋、刈谷東、城北つばさ(昼)、城北つばさ(夜)、熱田、碧南、名市工、飛鳥未来、津島、一宮、クラーク名古屋、向陽台東洋学園から12校42名が出場いたします。全国大会に向けて実施した強化練習会では横須賀高校の片山教頭先生はじめ、充実したコーチ陣の指導により、個々の技能、全体の士気を高めることができました。強化の一環として、高体連知多支部尾張支部共催のジュニア記録会にも参加させていただき、全国に向けたシミュレーションができ、より良い準備をすることができました。

定通陸上の記録は一見すると低調ですが、個々が様々な事情や困難を抱える中で競技に打ち込み自己を研鑽する姿はとても輝いています。県大会、全国大会と定通生徒が活躍できる場を頂けること、多くの方々に応援していただけることに感謝の気持ちを忘れず、全国大会では十分力を発揮し優勝旗と賜杯を愛知に持ち帰ることができるよう、サポートしていきたいと思えます。



県定通大会男女総合優勝の科技高刈谷のメンバー

(原田 賢一)

学連

2023 学生陸上競技、シーズン前半を終えて

2019年のナポリ大会を最後に国内外における感染症が拡大し、長く開催中止となっていた学生の世界大会、World University Games 2021(旧ユニバーシアード、以下WUG)がようやく開催される兆しが見えてきたため、日本学連では前年同様、日本学生個人選手権(平塚)を代表選手選考競技会として位置づけることとした。派遣手続きなどの関係上、今大会は例年の6月開催から4月に早期開催となった。前回大会までは、既卒生もWUGの選考対象としていたため、社会人アスリートの個人選手権への参加を認めていたが、今回は従来通り現役生のみでの選考とした。4月開催ということで、国内GPや地区インカレよりも早い開催日程の影響もあってか、出場選手によってはコンディション調整に苦労している様子も伺えた。しかし、100mや200mなどの直線を含む短距離種目においては、平塚という土地柄が功を奏し、海風が選手のパフォーマンスを後押しし、好記録が誕生した。選考条件と個人選手権の結果を照らし合わせた末、東海地区からは、田中友梨選手(七種競技、至学館大)と原田紗希選手(長距離、名城大)がWUG日本代表選手として選出された(表1)。

行動制限が緩和され、各種スポーツ大会では有観客開催に加えて、声出し応援の解禁後に開催された東海インカレ(岐阜メモリアル、5/26~5/28)においては、各大学の選手を応援しようとスタンドで陣取り、チーム独自の応援をする対校戦ならではの風景が戻ってきた。総合結果は、男女のトラックとフィールド、混成競技を含む全ての対校得点で

ホープさん ⑤③

谷口 海斗 選手(中京大中京高校2年)

谷口海斗選手は中学3年生の全国中学校陸上競技選手権大会で棒高跳に出場し、自己記録となる4m40を跳び3位に入った。その年のU16日本選手権でも3位と、日本一のタイトルを獲得することができなかった。海斗選手は早生まれということもあり、昨年高校1年生で、U16日本選手権に出場した。中学生が多く参加するなか、自己記録で大会新記録となる4m71で優勝する事ができ、日本一のタイトルを獲得した。

今年度は4月1日の名古屋地区の試合で4m91を跳び幸先の良いスタートをきっている。しかし、技術力の向上と体の成長により硬いポールが必要となった。だが、世界中でポールが不足する状況になり、思うようにポールが手に入らず柔らかなポールで試合に出場する事になった。今はポールも全てそろう全国大会に向けて準備が整っている。

海斗選手の競技力の元となるのが兄、終斗選手(中京大中京高校卒)の存在である。兄の試合を小学生の頃から観戦し、時にはポールを持って一緒に練習する事で、高い意識と見る目を養うことができた。3年前、コロナウイルスが世界中の人の流れを止め選手の練習環境を奪い、誰もが困っていたその頃、岡崎にあるイチゴ農園の社長が農園の一部に棒高跳の練習できる環境を提供してくださった。そこで、兄や高校生と一緒にレベルの高い練習をする事ができたことが今の記録に繋がっている。海斗選手の技術の中でポールを突っ込み曲げる動作はシニア選手にもひけを取らず、目をひくものがある。ポールを曲げた後の空中動作の習得が今後の課題でもある。

今年の目標は愛知県高校記録(5m10)を2年生で更新し、3年生ではU20、インターハイ、国体、U18の4タイトルを獲得することを目標に、日々練習に励んでいる。



U16大会で優勝した海斗選手

(谷口 直土)

1位を独占した中京大が圧倒的な強さで優勝した。大会最優秀選手は、2022年学生ランキング13位相当の記録をマークした小川滉心選手（男子ハンマー投）、女子短距離種目で100m、200m、400mRの多種目優勝を飾った外園愛梨選手が選出され、男女ともに中京大の選手となった（表2）。

東海インカレの翌週は、日本選手権、日本選手権混成と過密スケジュールとなってしまったが、2015年大会以来、西日本インカレ（岐阜）を東海地区にて開催することができた。東海地区では男女ともに総合力で突出している中京大であるが、西日本インカレ規模になると、その勢力図は大きく異なり、男女ともに福岡大学が総合優勝を収めた。なお、福岡大は総合優勝に加えて、男子フィールドの部、女子においてはトラックとフィールドの部でも1位となった。西日本地区からは、多くのWUG代表に選出されており、特に女子代表17名中12名が西日本地区の所属であることから、一時期の首都圏集中型の選手層とは大きく変化している。

トラック&フィールドは一段落し、第55回全日本大学駅伝（11/5、日）に向けた東海地区選考会が6月24日に開催（龍北）され、名古屋大学が11年ぶり16回目の代表権を獲得した。レースは、第3組までは7年連続出場を狙う皇學館大学が1位であったが、0.07秒差という短距離種目並みの僅差で名古屋大が追う展開で第4組を迎えた。最終4組目では、名古屋大が皇學館大を逆転し、1分28秒の差をつけて総合1位となった。

感染症下の期間に比べると各種競技会開催が活発になり、大会運営には欠かせない学生審判の育成にご協力くださる愛知陸協および各地区陸協の関係者の皆様には本誌を以って感謝申し上げます。

表1: ワールドユニバーシティゲームズ(2021/ 成都)代表選手・スタッフ

選手 / コーチ名 (所属・学年)	種目・役職	日本学生個人選手権
田中 友梨(至学館大学・4)	七種競技	七種競技 優勝
原田 紗希(名城大学・2)	女子10000m	女子10000m 5位
米田 勝朗(名城大学)	中長距離・コーチ	

表2: 第89回 東海学生陸上競技対校選手権大会

(岐阜メモリアル, 2023年5月26日~28日)

総合順位	トラックの部	フィールドの部	混成の部
男子 中京大 (65回目の総合優勝)	中京大	中京大	中京大
女子 中京大 (59回目の総合優勝)	中京大	中京大	中京大

■大会最優秀選手 (所属・学年)

女子 外園 愛梨 (中京大学・4) 100m 1位, 200m 1位, 400mR (大会新, 45.92) 1位

男子 小川 滉心 (中京大学・4) ハンマー投 1位 (65m68 ※ 2022 学生ランキング 13 位相当)

(黒須 雅弘)

実業団

今シーズンを迎えて

6月度の日本選手権を終え、7/12~7/16にタイ・バンコクで開催されるアジア選手権のメンバーが発表され、愛知県の実業団より4名の選手が選出されました。1500mの河村一輝選手（トーエネック）、10000mの田澤 廉選手（トヨタ自動車）、円盤投の湯上 剛輝選手（トヨタ自動車）、棒高跳の山本 聖途選手（トヨタ自動車）の4名で、1ページの記事の通りです。上位入賞を目指して頑張ってもらいたいものです。

また、8/19に開幕する世界陸上（ハンガリー・ブタペスト）には、日本選手権直後に競歩・マラソンが発表され、愛知県実業団から20km競歩の山西 利和選手（愛知製鋼）、35km競歩の丸尾 知司選手（愛知製鋼）、マラソンで西山和弥選手（トヨタ自動車）の3名が選出されました。



山西 利和 選手
(愛知製鋼)



丸尾 知司 選手
(愛知製鋼)



西山 和弥 選手
(トヨタ自動車)

残りの選手も追って発表があると思われませんが、多くの愛知県勢が選出されることを願っています。

(中村 博之)

マスターズ陸上

日頃は愛知マスターズ陸上へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナが5類に移行し様々な大会が多くの観客の声援の元で開催できるようになりました。

【記録会】

今年度はすでに4月9日に第88回、5月14日に第89回、6月25日に第90回の記録会を予定どおり開催することができました。第88回大会より新たに投てき種目として砲丸投を加え、各大会とも県内外から多くの選手に参加をいただき、スタンドからの観客の声援の元、熱戦が繰り広げられました。

第90回記録会での日本記録達成者

女子 W45 100m 12.44+1.5 酒井あおい

【第107回日本陸上競技選手権大会】

6月1日~4日にヤンマースタジアム長居で行なわれた、第107回日本陸上競技選手権大会のマスターズ部門に愛知から男性5名が100m走に出場しましたので選手と結果を紹介いたします。



後列右	M45	栗本 直規	11.99
後列左	M50	石黒 文康	11.79
前列左	M60	杉浦 拓	13.19
前列中央	M60	畠中 一起	13.62
前列右	M65	兵藤 隆昭	13.54

日本選手権という最高の舞台でトップアスリートと同じ場所で競技できたことは、各選手にとって、これまで走り続けてきて良かったと感じた瞬間であり、この経験は今後の競技活動の励みとなります。

【マスターズ日本記録達成者】

2022年度、愛知マスターズの選手が日本記録を出されたので紹介します。

男子 M25	3000mSC	9.32.97	
前田 優	西三河競技会 岡崎市龍北総合		
男子 M25	20kmW	2.41.51	
山本 幸大	全日本マスターズ競歩 北上		
男子 M50	ハーフマラソン	1.08.25	
江本 悟司	ぎふ清流ハーフ 長良川		
男子 M55	マラソン	2.38.10	
小川 博史	防府読売 防府		
男子 M80	重量投	13.82	
山田 博嗣	茨城マスターズ選手権 石岡市運動公園		
男子 M80	投てき五種	3978	
山田 博嗣	全日本マスターズ投てき五種 西部緑地公園		
女子 W45	60m	7.86 +1.3	
酒井あおい	東海マ選手権 多治見運動公園		
女子 W45	100m	12.53 +1.4	
酒井あおい	尾張記録会 県営一宮総合		
女子 W45	200m	26.22 +1.2	
酒井あおい	尾張記録会 一宮総合		
女子 W-24	400m	56.28	
木下 慶乃	東海マスターズ選手権 多治見運動公園		
女子 W45	1500m	4.54.49	
坂川真由美	尾張記録会 一宮総合		
女子 W50	走高跳	1.50	
釜 純子	尾張選手権 一宮総合		
女子 W65	ハーフマラソン	1.33.28	
中山 淳子	穂の国豊橋ハーフ 豊橋		
女子 W65	マラソン	3.07.26	
中山 淳子	名古屋ウィメンズ 名古屋		

(室内)

男子 M60	60m	8.04	
畠中 一起	中京大学室内競技会 中京大学		
女子 W40	60m	7.92	
沼田 佳苗	中京大室内 中京大学		
女子 W45	60m	8.08	
酒井あおい	中京大室内 中京大学		
女子 W55	60m	8.69	
宮本 百合	中京大室内 中京大学		

【令和5年度7月以降の競技会予定】

7月2日(日)

第32回愛知マスターズ選手権大会
ウェーブスタジアム刈谷

8月26日(土)

第91回記録会
ウェーブスタジアム刈谷

10月7日(土)～9日(月・祝)

第44回全日本マスターズ選手権大会
維新百年公園(山口市)

12月24日(日)

第36回全日本マスターズ駅伝大会
国営昭和記念公園(立川市)

令和5年度トラックシーズンも後半戦です。生涯スポーツとしてのマスターズ陸上が更に盛り上がるよう各大会の運営に取り組んで参ります。今後とも、愛知マスターズの活動に、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

(兵藤 隆昭)

OB・OG会

7月16日(日)名古屋ガーデンパレスに於いて、2023年度愛知陸協OB・OG会の総会及び懇親会を開催しました。

なお、秋の行事は11月下旬に尾張地区世話人のご協力で、研修会とお昼の懇親会を計画中です。

また、OB・OG会では新入会員の募集をしております。入会ご希望の方は、以下の地区世話人までお問い合わせください。

<名古屋>

國分 一郎・稲垣 裕・佐野 昭二・小川真一郎
水野 久

<尾張>

小島 末広・杉山 裕二・澤木三枝子

<西三河>

竹川 正彦・中尾 洋一

<東三河>

鈴木 覚・加藤 春雄

(水野 久)

競技会報告

豊橋長距離競技会

2023年4月15日(土) 豊橋市営陸上競技場

(本県1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
中学・高校男子3000m	阿部 紘也	中部大第一高	8.40.10
高校・一般男子5000m	蟹江 隼永	豊川高	14.38.12
中学・高校女子1500m	田中 柚良	西春高	4.32.74
中・高・一般女子3000m	近江 鈴香	TTランナーズ	9.48.95

国民体育大会選手選考春季選抜競技会

2023年4月15日(土)・4月16日(日) パロマ瑞穂北陸上競技場

男子

(1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	山田 佑輔	小島プレス	10.45
800m	樋口 諒	愛知陸協	1.56.59
110mH(1.067m/9.14m)	吉川 瑛亮	シンフォニア	14.62
400mH(0.914m/35.00m)	小田 将矢	豊田自動織機	51.90
3000mSC(0.914m)	佐藤 佑	I.A.R.C	9.27.52
10000mW	寺島 智春	豊田自動織機	48.55.82
走幅跳	渡邊圭一郎	トヨタ自動車	6.62
三段跳	田中 洋行	愛知陸協	13.73
砲丸投(7.260kg)	浅井 謙臣	近大	12.39
やり投(800g)	赤坂裕二郎	大谷クラブ	59.30
100m	石川 智基	愛工大名電高	10.64
300m	石川 智基	愛工大名電高	34.56
5000m	村松 稜太	豊田高専	15.53.01
300mH(0.914m/35.00m)	鈴木 哉汰	名古屋大谷高	37.55
棒高跳	谷口 海斗	中京大中京高	4.70
走幅跳	森部 諒	名城大附高	6.76
ハンマー投(6.000kg)	皆川 朋輝	三好高	56.55
やり投(800g)	石原 颯星	三好高	51.61
100m	木林 悠翔	豊川高	11.11
3000m	水野 悠希	愛知陸協	9.24.71
110mJH(0.991m/9.14m)	坂井 大一	至学館高	14.75
走幅跳	森川 陽介	名城大附高	6.59
円盤投(1.500kg)	佐藤 美波	大口中	34.49

少年共通	800m	小野 太陽	中京大中京高	1.59.42
	5000mW	鈴木 遼太	岡崎北高	25.23.88
	走高跳	加古 彩人	中京大中京高	1.95
	中学男子 110mH(0.914m/9.14m)	谷口 壮太	吉田方中	15.15
	走幅跳	星野 陸	大府中	5.20
	砲丸投(5.000kg)	佐藤 美波	大口中	12.86

女子

(1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	林 杏茄	至学館大	12.18
300m	近藤 七海	至学館大	39.81
400mH(0.762m/35.00m)	和佐田真広	中京大	1.01.28
5000mW	岡田なのは	千種高	24.31.77
走高跳	神谷 京奈	東海学園大	1.60
棒高跳	篠崎 稔里	至学館大	3.70
走幅跳	稲熊 詩帆	良友クラブ	5.32
100m	津川 愛依	時習館高	12.20
300m	中澤 愛菜	中京大中京高	40.52
800m	田中 柚良	西春高	2.13.69
3000m	火山 華	安城学園高	9.59.45
100mH(0.762m/8.50m)	林 美希	中京大中京高	13.42
300mH(0.762m/35.00m)	片山 心菜	中京大中京高	43.09
砲丸投(4.000kg)	山田 真央	安城学園高	12.30
やり投(600g)	成田 沙穂	中京大中京高	43.39
100m	佐藤 那有	田原東部中	12.23
100mYH(0.762m/8.50m)	平塚 玲音	岡崎城西高	14.57
円盤投(1.000kg)	伏木 杏莉	安城JY	34.27
走高跳	春日 凜	至学館高	1.55
走幅跳	酒井 菜胡	安城学園高	5.45
三段跳	武井 葉夏	名城大附高	11.42
100mH(0.762m/8.00m)	蛭川 真奈	成岩中学校	14.23
走幅跳	伊藤 里桜	大須AC	5.12
砲丸投(2.721kg)	田川 碧彩	御幸山中	9.58

2023 愛知パラフェスティバル
2023年4月16日(日) 県営一宮総合運動場(いちい信金スポーツセンター)

(NNR: 日本記録のみ)

種目	氏名	所属	記録
男子 100m T64	井谷 俊介	SMBC 日興証券	11.29 NNR
男子 100m T13	川上 秀太	アスピカ	10.81 NNR
	福永 凌太	中京大クラブ	10.89 NNR
男子 400m ダウン	矢下 博久	SRC	1.28.78 NNR
女子 1500m T47	土屋 真優	愛知淑徳高	6.21.22 NNR

第2回春日井スプリント in AICHI
2023年5月7日(日) スポーレ春日井陸上競技場

(SG: スプリントゲーム種目 1位のみ) (GR: 大会新)

種目	氏名	所属	記録
一般高校SG男子100m(2)	向井 悠汰	中京大中京高	10.59
中学SG男子100m(2)	今泉 成聖	YRC	11.12
一般高校SG女子100m(2)	佐久田侑咲	東女体大 AC	11.89 GR
中学SG女子100m(2)	布施 一葉	高豊中	12.55 GR

第67回中部実業団対抗陸上競技大会
2023年5月13日(土)・5月14日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (本県1位入賞のみ) (FR: 外国人参考記録 GR: 大会新)

種目	氏名	所属	記録
1500m	河村 一輝	トーエネック	3.47.36
5000m	マル イマニエル	トヨタ紡織	13.29.24 FR
10000m	ジョセフ カランジャ	愛知製鋼	27.47.35 FR
400mH (0.914m)	小田 将矢	豊田自動織機	51.04
3000mSC (0.914m)	新家裕太郎	愛三工業	8.48.09
10000mW	諏方 元都	愛知製鋼	40.36.82
円盤投 (2.000kg)	湯上 剛輝	トヨタ自動車	58.76 GR
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙	小林クリエイト	66.24
パラ T64 100m	大島 健吾	名古屋学院大 AC	11.82

女子 (本県1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
400m	吉田 紗弓	クレイン	55.20
800m	藤田 あい	豊田自動織機	2.12.19
1500m	簗下 明音	豊田自動織機	4.18.93
3000m	逸見 亜優	豊田自動織機	9.26.69
5000m	ヘレン エカラレ	豊田自動織機	15.32.87
10000m	簗下 明音	豊田自動織機	34.19.19

100mH (0.840m)	大松 由季	サンドリヨン	13.56
4×100m	遠山 実希 新垣 舞桜 山口 朱音 井貝 華央	トヨタ自動車	50.30
4×400m	糟谷 友里 新木 詩乃 齋藤 結 中村 瑠花	小島プレス	4.24.99
走高跳	榑原至佳子	ブロードリーフ	1.60
棒高跳	所 杏子	ラフィネ	3.80
三段跳	稲熊 詩帆	中部連盟	12.08
砲丸投 (4.000kg)	遠山 実希	トヨタ自動車	10.34
円盤投 (1.000kg)	近藤 未空	トヨタ自動車	37.50

第77回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会
2023年5月19日(金)~5月21日(日) マルヤス岡崎龍北スタジアム

男子 (3位入賞のみ) (GR: 大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	浅井 央真 10.81 瑞陵	向井 悠汰 10.83 中京大中京	石川 智基 10.83 愛工大名電
200m	浅井 央真 21.46 瑞陵	向井 悠汰 21.72 中京大中京	石川 智基 22.14 愛工大名電
400m	竹森 斗涉 48.70 中京大中京	藤田 藍介 49.03 豊橋南	久田 凌大 49.18 桜丘
800m	宮下 颯汰 1.53.55 中京大中京	水野 瑛人 1.53.79 春日井	小野 太陽 1.53.86 中京大中京
1500m	橋本憲一郎 3.56.44 愛知	田中 智稀 3.56.67 名経大高蔵	鈴木 太智 3.56.73 中京大中京
5000m	相地 一夢 15.13.45 豊川	内山 椋太 15.16.96 名経大高蔵	蟹江 隼永 15.19.04 豊川
110mH (1.067m)	横山 将也 14.25 中京大中京	岩田 優 14.89 一宮	西垣 侑玖 15.05 中京大中京
400mH (0.914m)	下田 隼人 51.39 GR 豊川	上村 空夢 52.48 名城大附	鈴木 哉汰 52.86 名古屋大谷
3000mSC	鈴木 陸霸 9.02.99 名経大高蔵	吉田 龍海 9.29.34 岡崎城西	加藤草太郎 9.31.87 愛知
5000mW	中村 優大 23.34.44 向陽	加藤 瑛一 24.00.48 旭野	前原 凌 24.07.65 愛産大三河
4×100mR	豊川 40.99 木林 悠翔 下田 隼人 寺下 頼檜 巻口 周平	名古屋大谷 41.35 喜々津侑篤 小野 真大 阿藤 大河 猪上 詞穂	昭和 41.67 林 巧真 林 誠太 田中 駿成 大地
4×400mR	中京大中京 3.16.28 小島 讓 永田 敦也 小野 太陽 竹森 斗涉	至学館 3.17.36 阪野 颯音 鈴木 蒼生 立浦 祥維 加藤 正清	名古屋大谷 3.18.24 大原 遙起 浮田 湊 金谷 晴哉 鈴木 哉汰
走高跳	森 皓基 2.01 一宮起工科	加古 彩人 1.98 中京大中京	高木 魁里 1.95 岡崎城西

棒高跳	谷口 海斗 4.70 中京大中京	久世 優空 4.40 中京大中京	時原 仁 4.20 岡崎城西
走幅跳	平林 駿登 6.98 安城東	森部 諒 6.84 名城大附	谷口 瑠昊 6.69 愛工大名電
三段跳	中村 光希 14.09 名城大附	加古 彩人 13.81 中京大中京	田子山恭介 13.75 星城
砲丸投 (6.000kg)	柳 勇次 15.50 誠信	兵藤 拓郎 15.04 名古屋大谷	河本 雅崇 14.59 名古屋大谷
円盤投 (1.750kg)	根本 睦千 45.90 GR 名古屋西	柳 勇次 42.13 誠信	兵藤 拓郎 41.05 名古屋大谷
ハンマー投 (6.000kg)	皆川 朋輝 56.60 三好	河本 雅崇 56.23 名古屋大谷	渡辺 望生 50.13 熱田
やり投 (800g)	小崎 颯汰 55.21 幸田	山田 幸英 55.17 愛知商	水谷 そら 55.06 愛工大名電
8種競技	加藤 颯真 5060 岡崎城西	鈴木 權斗 4946 中京大中京	坂井 大一 4566 至学館
総合の部	中京大中京 74	名古屋大谷 34	豊川 27
トラック	中京大中京 48	豊川 27	名経大高蔵 20
フィールド	中京大中京 21	三好 18	名古屋大谷 18

棒高跳	岡部 陽奈 3.30 岡崎	安井 叶夢 3.20 豊川	/
		草野 咲蕾 3.20 中京大中京	
走幅跳	松村 琴都 5.48 瑞陵	水野文由里 5.43 中京大中京	酒井 菜胡 5.39 安城学園
三段跳	武井 葉夏 11.70 名城大附	仙石 華子 11.70 安城学園	稲垣 空良 11.65 岡崎城西
砲丸投 (4.000kg)	山田 真央 12.16 安城学園	成田 沙穂 10.95 中京大中京	平岩 里彩 10.90 至学館
円盤投 (1.000kg)	安藤瑞七海 36.82 三好	蝦名 夏帆 35.86 瑞陵	成田 沙穂 34.30 中京大中京
ハンマー投 (4.000kg)	小島日依梨 48.52 名古屋大谷	川本菜々香 48.18 三好	佐々木安里 44.64 名古屋大谷
やり投 (600g)	小野 真裕 45.51 時習館	平岩 里彩 43.87 至学館	成田 沙穂 43.42 中京大中京
7種競技	林 美希 4744 中京大中京	太田 結愛 4519 中京大中京	高塚 虹百 4414 中京大中京
総合の部	中京大中京 130.5	至学館 46.5	安城学園 33
トラック	中京大中京 74	至学館 28.5	時習館 21
フィールド	中京大中京 41.5	三好 18	安城学園 17

女子

(3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
100m	鈴木 咲葉 12.44 至学館	岡田 翠 12.44 中京大中京	津川 愛依 12.49 時習館
200m	鈴木 咲葉 25.54 至学館	森 那帆 25.55 中京大中京	中澤 愛菜 25.85 中京大中京
400m	平野 里歩 55.89 中京大中京	中澤 愛菜 56.60 中京大中京	森 那帆 56.73 中京大中京
800m	森 千莉 2.11.00 豊田大谷	小原すずか 2.12.65 時習館	平野 里歩 2.12.98 中京大中京
1500m	火山 華 4.34.13 安城学園	長谷川采花 4.35.41 中京大中京	梅村 茉那 4.35.58 旭野
3000m	火山 華 9.49.34 安城学園	石川 桜子 9.49.89 豊田大谷	秋竹 凜音 9.49.99 豊川
100mH (0.838m)	林 美希 13.66 中京大中京	片山 心菜 13.80 中京大中京	長野 沙弥 14.42 岡崎北
400mH (0.762m)	片山 心菜 1.00.72 中京大中京	熊谷 実華 1.02.24 時習館	杉藤 葵 1.02.32 中京大中京
5000mW	岡田なのは 24.16.91 千種	塚本帆乃花 24.27.23 旭野	安達 みく 25.24.72 至学館
4×100mR	中京大中京 46.40	至学館 47.03	時習館 47.66
	宮田 愛結 岡田 翠 時任 陽菜 三輪 琉姫	谷口 花妃 佐藤 俐有 鈴木 咲葉 鈴木 虹葉	河合くるみ 津川 愛依 高津 采里 村松 杏音
4×400mR	中京大中京 3.46.04	岡崎城西 3.55.24	至学館 3.55.32
	森 那帆 中澤 愛菜 岡田 翠 平野 里歩	大和 令奈 杉浦 千恵 中野 希望 小島 奈々	立澤 理乃 鈴木 咲葉 金森 比那 鈴木 虹葉
走高跳	林 美希 1.67 中京大中京	今浦 彩葉 1.64 中京大中京	春日 凜 1.64 至学館

第89回東海学生陸上競技対校選手権大会

2023年5月26日(金)~5月28日(日)岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子

(本県1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
800m	盛 耕太郎	東海学園大	1.50.58
走幅跳	梅谷 太紀	中京大	7.50
円盤投 (2.000kg)	伊藤 蒼真	中京大	46.55
十種競技	梅田 朔也	中京大	6688

女子

(本県1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	外園 愛梨	中京大	12.00
200m	外園 愛梨	中京大	24.90
400m	近藤 七海	至学館大	55.85
100mH (0.838/8.5m)	安藤 愛木	至学館大	13.75
400mH (0.838/35m)	和佐田真広	中京大	1.00.72
走高跳	神谷 京奈	東海学園大	1.67
棒高跳	篠崎 稔里	至学館大	3.80
走幅跳	明星 光	中京大	5.83
砲丸投 (4.000kg)	小原 恵	岐阜協立大	12.71
七種競技	齋藤みゆに	中京大	5015

第107回日本陸上競技選手権大会

2023年6月1日(木)～4日(日) 大阪・ヤンマースタジアム長居

男子 (本県8位入賞のみ) (GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	5	本郷 汰樹	オノテック	10.21
1500m	1	河村 一輝	トーエネック	3.38.45 GR
	6	野口 雄大	トーエネック	3.41.15
400mH	1	小川 大輝	東洋大	49.52
3000mSC	6	新家裕太郎	愛三工業	8.34.92
円盤投	8	湯上 剛輝	トヨタ自動車	56.78

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	3	蔵重 みう	甲南大	11.72
200m	7	吉田 紗弓	クレイン	23.94

第39回U20日本陸上競技選手権大会

2023年6月1日(木)～4日(日) 大阪・ヤンマースタジアム長居

男子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
200m	3	向井 悠太	中京大中京高	21.35
800m	1	盛 耕太郎	東海学園大	1.51.68
	7	宮下 颯太	中京大中京高	1.54.83
400mH	3	下田 隼人	豊川高	51.72
	6	押田 周真	岡崎北高	53.49
走幅跳	4	森部 諒	名城大附高	7.29
やり投(800g)	8	横井 太翔	中京大	61.48

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	6	倉橋 美穂	青学大	12.08
200m	5	倉橋 美穂	青学大	24.62
800m	1	平野 里歩	中京大中京高	2.09.34
1500m	8	吉田 莉帆	豊田自動織機	4.28.06
100mH	1	片山 心菜	中京大中京高	13.58
400mH	5	和佐田真広	中京大	1.00.13
	8	夏目 紗彩	日体大	1.02.25

U20アジア陸上選手権

2023年6月4日(日)～6月7日(水) 醴泉(韓国)

種目	順位	氏名	所属	記録
女子七種競技	2	林 美希	中京大中京高	5095
女子100mH	1	林 美希	中京大中京高	13.64

第74回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会

2023年6月4日(日) 物産フードサイエンス1969知多スタジアム

男子 (1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	加藤 友基	科技刈谷	11.57
200m	加藤 友基	科技刈谷	24.84
400m	金子 凌空	科技刈谷	55.26
800m	三浦 響起	豊橋昼	2.16.79
1500m	渡邊 僚一	科技刈谷	4.50.20
5000m	濱口 靖人	科技刈谷	18.03.01
400mH(0.914m)	金子 凌空	科技刈谷	1.02.50
3000mSC	上原 右大	科技刈谷	11.08.96
4×100mR	沼野 靖生 岡 忍 高木 悠風 加藤 友基	科技刈谷	46.79
	岡 忍 濱口 靖人 石垣 拓磨 金子 凌空	科技刈谷	3.58.42
	走高跳	谷川 祐二	碧南
走幅跳	吉川 遥和	飛鳥未来	6.10
三段跳	高木 悠風	科技刈谷	11.70
砲丸投(6.000kg)	吉田 将隆	熱田	11.15
円盤投(1.750kg)	吉田 将隆	熱田	28.47
男子総合	科技刈谷		117

女子 (1位のみ)

種目	氏名	所属	記録	
100m	細野 乙芽	城北つばさ昼	13.89	
200m	細野 乙芽	城北つばさ昼	29.14	
400m	田口 貴子	科技刈谷	1.10.29	
800m	田口 貴子	科技刈谷	2.43.35	
3000m	長野茉莉乃	一宮	13.36.95	
100mH(0.838m)	今泉 花音	刈谷東昼	19.89	
4×100mR	杉下 凜 内山 もえ 石黒 志歩 田口 貴子	科技刈谷	58.27	
	走高跳	呉屋邪悉明	豊橋昼	1.35
	走幅跳	杉下 凜	科技刈谷	4.46
砲丸投(4.000kg)	宮里 日菜	科技刈谷	7.74	
円盤投(1.000kg)	岩城 由侑	城北つばさ夜	20.21	
女子総合	科技刈谷		71	

第39回U20日本陸上競技選手権大会混成競技

2023年6月10日(土)・6月11日(日) 秋田県営陸上競技場

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
七種競技	1	林 美希	中京大中京高	5043
	7	高嵩 桃花	東京学芸大学	4688
	8	高塚 虹百	中京大中京高	4593

第70回東海高等学校総合体育大会

2023年6月16日(金)～6月18日(日)小笠山総合運動公園

男子 (本県6位入賞のみ) (GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
200m	3	向井 悠汰	中京大中京	21.29
400m	4	稲葉大伊知	国府	48.06
800m	1	宮下 颯汰	中京大中京	1.51.82
	2	地案 尚宏	旭野	1.52.31
	3	藤田 藍介	豊橋南	1.52.63
	4	小野 太陽	中京大中京	1.52.81
	5	水野 瑛人	春日井	1.52.84
	6	田中 智稀	名経大高蔵	1.52.98
1500m	1	田中 智稀	名経大高蔵	3.54.69
	3	鈴木 太智	中京大中京	3.55.44
	4	福田 大馳	名経大高蔵	3.55.51
	5	橋本憲一郎	愛知	3.55.63
5000m	2	相地 一夢	豊川	15.09.18
	3	内山 椋太	名経大高蔵	15.09.34
110mH (1.067m)	2	横山 将也	中京大中京	14.21
	4	岩田 優	一宮	14.76
400mH (0.914m)	1	下田 隼人	豊川	51.29 GR
	2	鈴木 哉汰	名古屋大谷	52.18
	3	押田 周真	岡崎北	52.46
	4	上村 空夢	名城大附	52.50
	5	原 壮輝	三好	53.12
	6	小崎 真之介	刈谷	53.43
3000mSC (0.914m)	1	鈴木 陸霸	名経大高蔵	8.57.22 GR
	6	宮崎 颯来	豊田大谷	9.15.76
5000mW	4	中村 優大	向陽	22.30.76
	5	永山 大志	豊明	22.31.10
4×100mR	4	喜々津侑篤 小野真大 阿藤大河 浮田湊	名古屋大谷	40.96
	5	谷口瑠昊 鶴賀康太 蟹江陽仁 石川智基	愛工大名電	40.98
4×400mR	3	鎌戸煌大 足立光太郎 田中仁識 久田凌大	桜丘	3.13.87
	4	浮田湊 金谷晴風 小野真大 鈴木哉汰	名古屋大谷	3.14.03
	6	阪野颯音 鈴木蒼生 立浦祥維 加藤正清	至学館	3.14.07

走高跳	1	加古 彩人	中京大中京	2.01
	5	森 皓基	一宮起工	1.98
棒高跳	3	谷口 海斗	中京大中京	4.60
走幅跳	3	平林 駿登	安城東	7.33
	4	森部 諒	名城大附	7.23
砲丸投 (6.000kg)	1	柳 勇次	誠信	15.99
	4	兵藤 拓郎	名古屋大谷	15.02
	6	河本 雅崇	名古屋大谷	14.24
円盤投 (1.750kg)	3	根本 睦千	名古屋西	43.82
	4	岩瀬 一輝	三好	43.22
	6	井上 稜	熱田	42.19
ハンマー投 (6.000kg)	1	市原 想太	愛西工科	57.60
	2	皆川 朋輝	三好	57.43
	3	河本 雅崇	名古屋大谷	56.92
	6	渡辺 望生	熱田	54.15
八種競技	4	加藤 颯真	岡崎城西	5170
	5	浦口 泰陽	安城学園	5030
総合	1	中京大中京	54	
	5	名古屋大谷	31	
	6	名経大高蔵	30	
トラック	1	中京大中京	39	
	2	名経大高蔵	30	
フィールド	5	三好	14	
	6	名古屋大谷	14	

女子 (本県6位入賞のみ) (GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	3	鈴木 咲葉	至学館	12.03
	5	岡田 翠	中京大中京	12.10
200m	3	鈴木 咲葉	至学館	24.62
400m	1	平野 里歩	中京大中京	55.36
	3	森 那帆	中京大中京	55.84
	5	中澤 愛菜	中京大中京	56.72
800m	1	森 千莉	豊田大谷	2.08.85
	3	小原すずか	時習館	2.10.68
	4	平野 里歩	中京大中京	2.10.97
	6	都築優衣華	岡崎城西	2.12.20
1500m	3	火山 華	安城学園	4.26.34
	4	林 彩夢	岡崎城西	4.29.97
3000m	5	梅村 茉那	旭野	4.30.07
	1	秋竹 凜音	豊川	9.24.59
100mH (0.838m)	3	野村 通子	豊川	9.29.65
	4	石川 桜子	豊田大谷	9.30.35
	5	梅村 茉那	旭野	9.33.37
	6	中馬 蘭奈	豊田大谷	9.33.68
400mH (0.762m)	1	林 美希	中京大中京	13.51 GR
	2	片山 心菜	中京大中京	13.78
	4	長野 沙弥	岡崎北	14.12
400mH (0.762m)	1	片山 心菜	中京大中京	1.00.77
	2	杉藤 葵	中京大中京	1.01.34
	4	熊谷 実華	時習館	1.01.93
	5	小島 奈々	岡崎城西	1.02.38

5000mW	1	寺本 瑛美	旭丘	24.21.30
	2	岡田なのは	千種	24.26.41
	3	塚本帆乃花	旭野	24.28.35
	4	安達 みく	至学館	24.32.53
	5	大島 璃胡	津島	24.40.20
4×100mR	1	神谷 朱里 佐藤 俐有 鈴木 咲葉 鈴木 虹葉	至学館	46.53
	6	彦坂 莉朱 佐竹 愛琉 真田 あこ 嶋 結菜	豊橋南	47.07
4×400mR	1	森 那帆 中澤 愛菜 佐野 日香 平野 里歩	中京大中京	3.47.03
	3	鈴木 咲葉 金森 比那 立澤 理乃 鈴木 虹葉	至学館	3.48.95
	5	大和 令奈 杉浦 千恵 中野 希望 小島 奈々	岡崎城西	3.49.98
	6	酒井 菜胡 岡部 百海 松澤 由奈 川口 莉絆	安城学園	3.50.60
走高跳	2	今浦 彩葉	中京大中京	1.67
棒高跳	4	岡部 陽奈	岡崎	3.20
	5	安井 叶夢	豊川	3.20
走幅跳	3	寺島 慶	愛工大名電	5.78
	5	酒井 菜胡	安城学園	5.72
三段跳	4	稲垣 空良	岡崎城西	11.84
	5	武井 葉夏	名城大附	11.84
砲丸投 (4.000kg)	4	山田 真央	安城学園	12.63
	6	平岩 里彩	至学館	11.83
円盤投 (1.000kg)	3	安藤瑞七海	三好	37.29
	4	蝦名 夏帆	瑞陵	36.87
ハンマー投 (4.000kg)	5	川本菜々香	三好	49.37
	6	小島日依梨	名古屋大谷	49.35
やり投 (600g)	4	平岩 里彩	至学館	45.36
	6	細貝 美桜	向陽	44.69
七種競技	1	林 美希	中京大中京	5113 GR
	3	高塚 虹百	中京大中京	4645
	4	田島七里香	至学館	4621
	5	太田 結愛	中京大中京	4620
総合	1	中京大中京		95
	3	至学館		46
トラック	1	中京大中京		66
	3	至学館		31
	6	岡崎城西		18
フィールド	5	中京大中京		11
	6	安城学園		11

“日清食品カップ”愛知県小学生陸上競技交流大会
2023年6月24日(土)パロマ瑞穂公園北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
5年100m	西尾 天良 13.93 JAC武豊	太田 裕都 13.99 田原陸上	白石 楓翔 14.07 豊川AC
6年100m	平岩 陸斗 12.18 GR刈谷AC	坂川 舜 12.54 SCSR	吉井 一平 12.57 東浦AC
4年80mH	高橋 桜来 15.37 TSM岡崎小学	今井 隼 15.65 TSM	伊藤 環大 16.22 大空クラブ
4年走高跳	酒匂 颯人 1.08 JAC武豊	工藤 透晴 1.05 知立ジュニア	片岡 諭吾 1.05 成岩SC陸上
4年走幅跳	児島 海斗 3.69 OBUエニスポ	若林 優真 3.64 なごや陸上	松尾 明希 3.55 東浦AC
4年ジャバボール投	平田 岳 43.49 GRトライルAC	山口琥太郎 38.66 知立ジュニア	采女 光氣 37.07 糸陸
4年50m	里 光将 7.74 安城JAC	岡崎 蒼羽 7.80 浦郡クラブ	伊藤健之介 7.81 成岩SC陸上
コンバインドA	横地 輝昊 2270 大須AC	壁谷 亮秀 2162 TSM岡崎小学	中村 倫大 2077 TSM
コンバインドB	高岸 柚璃 2119 なごや陸上	丸山 太陽 2064 へきなん陸上	稲葉 勝哉 1982 SET PROJECT 谷口 靖弥 1982 トライルAC

女子 (3位入賞のみ) (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
5年100m	内藤 琴美 13.74 キムランニング	飯田 芽生 14.26 安城JAC	本田 稟菜 14.53 TSM
6年100m	田村 優芽 13.00 なごや陸上	中村 乙葉 13.48 刈谷AC	齋藤 唯花 13.50 美浜AC
4年80mH	楓 汐莉 14.44 TSM岡崎小学	上出 愛華 16.12 TSM岡崎小学	加藤 心寧 16.36 TSM岡崎小学
4年走高跳	片桐 喜子 1.00 JAC武豊	渡辺 羽奈 1.00 へきなん陸上	竹岡 杏 0.95 大須AC
4年走幅跳	高羽 紗弥 3.44 なごや陸上	野崎 心美 3.31 なごや陸上	山中 美輝 3.12 へきなん陸上
4年ジャバボール投	松下 結乃 27.17 たかはま陸上	村松 希衣 25.61 TSM岡崎小学	山崎 菜心 25.46 刈谷AC
4年50m	宮川 芽依 7.92 トライルAC	白滝 玲奈 7.94 東浦AC	大桑 花梨 7.95 豊川AC
コンバインドA	榎原 りほ 2197 GR TFC半田	宮園 未莉 2192 GR 大須AC	山本 依那 2185 GR 田原陸上
コンバインドB	近藤 彩 1850 TSM岡崎小学	齋藤 由莉 1846 トライルAC	鈴木 紗那 1686 大須AC

混合 (3位入賞のみ) (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
混合4×100mR	田原陸上 51.68	なごや陸上A 52.79	豊川ACA 53.11
	塚原 舞空 山本 依那 佐藤 遼 齋藤 史玖	向井野実紀 田村 優芽 澤野凜太郎 高岸 柚璃	佐野 泉 藤井 蓮花 鈴木 海琉 堂前 純仁
4年混合4×100mR	JAC武豊 59.60 GR	たかはま陸上 1.03.18	布袋陸上クラブB 1.04.19
	酒匂 謙太 三井 珠那 兼井 亜湖 三井 敦貴	角谷 泰一 松下 莉乃 神谷 朱音 杉浦 尊	朝田 結菜 大川 巧真 浅野 由莉 田尻 健人

5年混合 4×100mR	たかはま陸上 59.00	田原陸上 1.02.05	TSM 岡崎小学 1.02.09
	佐藤 莉紗	中村 柚莉	常岡 千遥
	花井 萌彩	鈴木 愛都	小島 弘也
	山中 類翔	鈴木 雨花	鈴木 玲愛
	橋本 弘	林 海成	高橋 幸聖

2023東海混成愛知大会・第44回愛知県混成競技大会
第83回愛知陸上競技選手権長距離・リレー競技大会
特別国体少年の部選手選考競技会
2023年7月1日(土)・2日(日) パロマ瑞穂北陸上競技場

第26回愛知県中学校選抜混成競技大会兼JO記録会
2023年6月25日(日) パロマ瑞穂北陸上競技場

四種競技 (3位入賞のみ) (◎: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
四種競技(男子)	矢野 春樹 2628 ◎ 武豊	脇島 良惟 2036 成岩	和知 志侑 2013 美川
四種競技(女子)	間瀬 奏波 2816 ◎ 幸田南部	夏目 純佳 2751 ◎ 矢作北	平岩 琴葉 2642 ◎ 前林

男子 (1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	鳥山 流生	豊川西部中	11.26
145m	今泉 成聖	小坂井中	16.05
1000m	酒井真太郎	大口中	2.40.83
110mH(0.914m)	権田 颯志	翔南中	14.52
4×100mR	岩下 竣太 松岡 篤司 長谷川 帝斗 達村 竜斗	JSC	43.91
走高跳	森川 璃空	吉根中	1.73
棒高跳	沼野 靖生	科技高刈谷	3.80
走幅跳	坂本 友星	扇台中	6.00
三段跳	小倉 功拱	長久手北中	11.51
砲丸投(5.000kg)	佐藤 美波	大口中	13.64
円盤投(1.500kg)	土本 陽翔	大高中	30.28

女子 (3位入賞のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	榎本 実莉	JACT	12.83
145m	布施 一葉	高豊中	17.82
1000m	北川 天咲	TSM	2.56.84
100mH(0.762m)	蜷川 真奈	成岩中	14.25
4×100mR	安保 芹菜 入口 未悠 伊藤 弥生 石原 花恋	御幸山中	49.89
走高跳	太田多梨愛	港南中	1.45
棒高跳	小野江佑月	末野原中	2.60
走幅跳	伊藤 里桜	川名中	5.22
三段跳	尾崎ほまり	平坂中	10.06
砲丸投(2.721kg)	片桐 舞	大高中	12.79
円盤投(1.000kg)	伏木 杏莉	東山中	33.80

男子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
十種競技	中西 陸 6404 中京大	小川 浩平 5113 愛知マスターズ	
5000m	井上 雄斗 14.30.26 志楽園福祉会	深谷 健斗 14.37.77 TPAC	橋本 平良 14.43.97 南山大
3000mSC(0.914m)	新家裕太郎 8.55.83 愛三工業	佐藤 佑 9.24.79 I.A.R.C	竹内啓一郎 9.27.63 I.A.R.C
4×100mR	日大 A 40.30 香山 勇輝 小島 拓真 桂木 大和 田邊 隼門	トヨタ自動車 40.35 渡邊圭一郎 高野 克哉 新城 健斗 家田 英幸	至学館大 41.34 伊藤 大翔 鳥居 大隼 牧原 浩樹 影山 敬祐
4×400mR	至学館大 3.15.29 野原 大希 鳥居 大隼 牧原 浩樹 伊藤 有哉	中京大中京高 3.16.56 小島 讓 高井 佑太 西垣 侖玖 竹森 斗渉	至学館高 3.16.90 阪野 颯音 立浦 祥維 鈴木 蒼生 加藤 正清
少年A 300m	向井 悠汰 33.81 中京大中京高	石川 智基 34.16 愛工大名電高	横井 一輝 35.02 瑞陵高
少年A 300mH	鈴木 哉汰 37.69 名古屋大谷高	上村 空夢 37.70 名城大附高	原 壯輝 38.01 三好高
少年B 100m	小野 真大 10.86 名古屋大谷高	木林 悠翔 11.10 豊川高	石橋 新 11.14 明和高
少年B 3000m	鈴木 太智 8.38.95 中京大中京高	間瀬 凌成 8.42.82 豊橋南高	鷺見龍之介 8.58.27 名経大学高蔵高
少年B 110mJH(0.991m)	坂井 大一 15.18 至学館高	山口 竜世 15.33 安城学園高	高島 悠生 15.54 中京大中京高
少年B 走幅跳	齋藤 悠羽 6.67 豊橋南高	森川 陽介 6.50 名城大附高	荻野 斗駿 6.24 岡崎城西高
少年B 円盤投(1.500kg)	渡辺 快 39.91 昭和高	佐藤 美波 37.16 大口中	石坂 巧真 34.16 修文学院高

女子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
七種競技	三輪ダリヤ 4600 IWATA	萩原 朱里 4220 至学館大	櫻井 晴菜 4077 中京大
5000m	火山 華 16.58.31 安城学園高	近江 裕香 17.03.06 TTランナーズ	太田 美晴 17.47.60 安城学園高
3000mSC(0.762m)	藤井 音寧 11.49.40 岡崎城西高	向井 智香 12.26.92 鈴波	
4×100mR	中京大中京高 46.08 宮田 愛結 岡田 翠 時任 陽菜 三輪 琉姫	東海学園大 47.14 伊藤 風香 溝口 岬希 石川 紗衣 西川ひより	豊橋南高 47.25 彦坂 莉朱 佐竹 愛琉 眞田 あこ 嶋 結菜
4×400mR	中京大中京高 3.48.67 佐野 日香 平野 里歩 江藤 柚葉 中澤 愛菜	東海学園大 3.52.40 溝口 岬希 松下 陽菜 渡邊 由夏 西川ひより	豊橋南高 3.56.87 小川 遥妃 佐竹 愛琉 彦坂 莉朱 眞田 あこ
少年A 300m	中澤 愛菜 40.01 中京大中京高	杉浦 千恵 40.48 岡崎城西高	川口 莉鈴 40.60 安城学園高
少年A 300mH	片山 心菜 42.88 中京大中京高	小島 奈々 44.45 岡崎城西高	熊谷 実華 44.50 時習館高

少年B 100m	時任 陽菜 12.40 中京大中京高	三輪 琉姫 12.42 中京大中京高	坂本 茜 12.45 中京大中京高
少年B 100m YH (0.762m/8.5m)	三好 澄果 14.39 豊川高	平塚 玲音 14.61 岡崎城西高	井坂 優里 14.95 中京大中京高
少年B 円盤投 (1.000kg)	磯部友里亜 34.59 愛知淑徳高	栗原 祐芽 30.02 修文学院高	下山 玲乃 27.69 中京大中京高

2. 報告事項

- ① 令和5年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について
 - ② 第83回愛知陸上競技選手権賞寄贈依頼について
 - ③ 第66回東海陸上競技選手権大会について
- (水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

理事会等会議報告

○3月理事会 令和5年3月29日(水)

1. 協議事項

- ① 役員の定年制について
- ② 令和5・6年度一般財団法人愛知陸上競技協会役員(案)について
- ③ 令和5年度予算(案)
- ④ 令和5年度事業計画
- ⑤ 令和5年度年間行事日程(案)

2. 報告事項

- ① 各専門委員会報告
- ② 各陸協・協力団体からの報告

○6月理事会 令和5年6月13日(火)

1. 協議事項

- ① 任期満了に伴う役員の選任について
- ② 令和4年度一般概要及び事業報告について
- ③ 令和4年度収支決算報告について 監査報告
- ④ 令和5年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について
- ⑤ 第83回愛知陸上競技選手権賞寄贈について

2. 報告事項

- ① 第66回東海陸上競技選手権大会について
- ② 各専門委員会報告
- ③ 各地区陸協から
- ④ 各協力団体から

○臨時評議員会 令和5年6月13日(火)

1. 協議事項

- ① 令和5・6年度一般財団法人愛知陸上競技協会役員(案)について

2. 報告事項

- ① 令和5年度事業計画について

○定時評議員会 令和5年6月27日(火)

1. 協議事項

第1号議案

令和4年度一般概要、事業報告及び決算報告について
監査報告

第2号議案

役員の改選に関する件

○令和4年度日本陸上競技連盟

- (秩父宮章) 日本陸連・加盟団体への功労
杉山 裕二
(高校優秀指導者章) 高校生指導者として功労
石田 桂 (安城学園高等学校)
(中学優秀指導者章) 中学生指導者として功労
今泉 仁志 (豊川東部中学校)
(高校優秀選手章)
林 美希 (中京大中京高校)
(中学優秀選手章)
鈴木 太智 (豊橋東陽中学校)

○愛知陸上競技協会会長表彰

- (名古屋) 可知 裕行 横江 清司
(西三河) 山村 晃泰 阿部 哲也

○愛知陸上競技協会表彰

- 米田 勝朗 (名城大学女子駅伝部監督)
北村 肇 (中京大中京高校監督)

(水野 隆夫)

おくやみ

長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	地区名
金澤 満	R4・11	東三河
林 孜	R5・4	東三河
堀尾 貢	R5・4	西三河
井上 和孝	R5・5	尾張

編集後記

◇コロナ対応の変化で本来の競技会にもどりつつある。好記録の続出をますます期待したい。◇陸協組織の刷新で、2026アジア大会の準備を着実に進めたい。◇ご多忙中、多くの方からの寄稿に深謝。

編集委員

赤尾 和雄	大西 敏功	小坂 拓	鈴木人呂信
竹前 正直	茶谷 和彦	新見 精三	秦 聖喜
兵藤 重二	山下ゆかり		